



◆当面する重点作業について

1. 休眠期防除(耕種的管理・薬剤散布)を徹底する。農薬の飛散に注意する。
特に「シャインマスカット」「クイーンルージュ®」は黒とう病に弱いので注意する。
植えたばかりの苗木でも感染するので散布をしっかりと行う。
幼木で感染すると主幹・主枝の形成に大きく影響してしまうので注意する。
発生が多い園は越冬源の巻きひげや病斑をもう一度見回って除去する。

2. カイガラムシ類・クビアカスカシバ対策として、特に丁寧に主幹・主枝の粗皮剥ぎを実施する。

3. ブドウトラカミキリ・ブドウスカシバの被害枝を剪除し、焼却又は土中に埋める。
4. 側枝、種枝の誘引、結束作業の見直し点検を実施する。
5. 防霜資材を準備する。また防霜ファン施設の試運転を行う。

◆第1回薬剤散布について

1. 散布時期：3月29日（土）～4月2日（水）頃 散布日 月 日
2. 調 合 量：水95ℓ当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	10ml	—	—
石 灰 硫 黄 合 剤	5ℓ	ハモグリダニ・ブドウサビダニ・（黒とう病）	—

3. 散 布 量：10a当り＝200ℓ以上
4. 留意事項
 - ①あんず等でミツバチを導入する地区では、ミツバチの導入（開花）前までに散布を終わらせる。
 - ②温暖無風の日(時)を選び、たっぷり丁寧に散布する。
 - ③ハモグリダニの発生が心配される場合は、石灰硫黄合剤を10倍（水90ℓに10ℓ）で使用する。
 - ④黒とう病・晩腐病の発生が多い場合は、ベンレート水和剤200倍（水95ℓに500g）を加用散布する。
なお、ベンレート水和剤は溶けにくいので、ぬるま湯で溶かし直前に加用する。

◆かん水について

土壌乾燥しすぎないように、かん水を行う。